

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	270201874		
法人名	社会福祉法人つがる三和会		
事業所名	グループホーム城西		
所在地 (電話番号)	〒036-8279 青森県弘前市茜町二丁目1-18 (電話) 0172-31-4533		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 8月 9日	評価確定日	平成 19年 9月 7日

【情報提供票より】(平成 19年 7月 18日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 9月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	15 人 常勤 3人, 非常勤 12人, 常勤換算 13.7人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り
	3階建ての 2階 ~ 3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000 円	その他の経費(月額)	9,600 円	
敷金	有(円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり	1,050 円		

(4) 利用者の概要(7月 18日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	2名	要介護2	5名		
要介護3	8名	要介護4	3名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 82.6歳	最低	57歳	最高	97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人弘前小野病院・久米田歯科医院
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

弘前市の郊外に立地され、3階建てのうち2階と3階部分を使用しており、ホールから岩木山などの景色が一望できる。周囲の環境は、ショッピングセンターや小学校があり地域の人などと接する機会の多い場所である。ホーム内にはエアコンや空気清浄機が完備され、各居室にはトイレと洗面所が設置されており、ホールは広く、大きな窓から適度な採光があり快適な空間になっている。職員は毎月勉強会に参加されたり、全員で自己評価をしてスキルアップに努めている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	運営理念についてどこからでも見えるよう掲示する場所を改善されている。また共用空間の居場所の確保については入居者の身体状況に合わせ配置を考慮されている。入居者のベースの尊重では急がせることもなく個々のベースを尊重し関わっており改善されている。職員の配置転換についてはグループホームに必要な知識等を勉強された職員を異動し、また引継ぎも新人に付き添い、入居者の状況を細かく伝達し支障がないようにされている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員一人ひとりが自己評価し最後に全員で話し合いまとめている。一人ひとりの意識改革につながっている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議を通し地域住民との関係が構築されてきている。双方から意見が出ており地域密着型のサービスとなってきている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)
	意見等があれば法人の運営会議にかけられ改善を図っている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連事項:外部3)
	小学校の行事への参加、慰問やボランティアの受け入れや地域の一員として廃品回収に協力されている。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念の一つとして地域に根ざすことを掲げており、それをもとに入居者の尊厳を保つ理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝のミーティングの際、職員で理念について話し合われ職員は常に念頭に置きながらケアに携わっている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	散歩時近所の人と声をかけあったりまた地域の一員として老人会や町会長など交流を図り廃品回収など協力されている。また小中学校の慰問やボランティアなどの受け入れも行っている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価は全員で行った後、それをもとにみんなで話し合い、ひとつにまとめることでお互いの気付きにつながっている。また外部評価の結果を基に話し合い、現在のサービスにとどまらず改善しより良いサービス提供につないでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>利用者、ご家族、市の職員、町会長、民生委員でメンバー構成され、自己評価や外部評価結果などを報告したり地域の意見を聞き活発に意見交換されている。グループホームとしての役割を果たし、サービス向上につなげている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>問題や分からないことは積極的に市の担当者のところへ行き、相談しながら連携を図り、ともにサービスの向上に取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在対象者はいないが、全職員が権利擁護について学んでおり理解している。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>資料などを基に虐待防止について学んでおり、管理者は職員がケアを行う際の言葉がけなどにも注意を払っている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約する際は文章だけでは分かりにくいので、さらに細かく口頭で説明し理解できるよう配慮されている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月便りを発行し、金銭の出納管理とともにご家族へ送っている。また健康管理については随時報告し連絡を取り合っている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設置したり、面会時ご家族へ意見などないか繰り返し確認し、意向があった際は毎月ある法人の運営会議にかけられ、話し合われた内容については全職員が閲覧できるようにされている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員が異動する際、認知症ケアについて十分に勉強されている職員を配置している。また配置後、入居者が早く馴染めるよう新しい職員の側に馴染みの職員が付き、細かい指導がなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新人や職員の段階に応じて研修を計画している。また法人として月1回の勉強会やグループホームとしても同法人の3ヶ所との合同の勉強会も設け職員のスキルアップに努めている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修を通して同業者との交流を図ったり、同法人3ヶ所と勉強会の年間計画を立てサービスの質の向上に努めている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前に利用者、ご家族と面談し馴染めるように工夫されている。またご家族へ状況を随時報告し本人が安心してサービスが利用できるように支援されている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は洗濯たたみや料理など入居者からの意見を尊重し、それを大切にしながら関係を築きあげている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>計画書には本人の意向が記載され、また日々の生活の中でも意向の把握に努めている。認知症が重度であっても表情を見ながら選択させるなど本人の意向の把握に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>月2回カンファレンスがあり職員みんなで意見を出し合って計画を立てている。家族の面会時に説明し最終的な介護計画を作成されている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間に応じて担当者会議を開催し見直ししている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>近々ショートを実施していく予定である。現在医療連携体制加算や通院介助などの移送サービスも行い、利用者や家族が安心して暮らしが継続できるよう支援されている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人やご家族が希望するかかりつけ医となっております。また希望に応じて受診介助されている。ご家族が通院介助される際、受診後の情報は共有されている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時点でご家族、本人と話し合いを持たれ、それについて職員も方針を共有している。また医療連携体制加算も施行され、指針も十分に説明し納得して頂いている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりに寄り添いながら言葉かけや対応されている。記録等は目に付く場所には置いてはいない。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の業務よりその人が今希望することに耳を傾け一緒に散歩へ出かけたり、その人の1日のペースをゆったりと見守り支援されている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の準備や片付けは入居者に合った役割分担ができており、職員と共に行われている。食事の際、介助が必要な方の側に職員が座り共に食事をしながらサポートされていた。食事が一人ひとり楽しめるよう会話をされ、笑い声が聞かれている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>好きな時間に入れるようにされており、また入浴が楽しめるよう入居者同士が入れるよう配慮されている。発汗が多いときは入浴以外にシャワー浴も行い清潔の保持に努めている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>その人の趣味や生活歴から掃除など家事を行ってもらったり、認知症が強くても活動意欲がでるよう職員が働きかけ裁縫などを提供し一緒に行うなど役割や楽しみが持てるような支援をされている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>窓から見える野菜畑を眺めている利用者に対し声をかけ畑まで出かけたり、買い物や散歩など外出する機会をつくっている。また月1回は普段行けないような所へドライブに出かけ楽しめるよう支援されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>勉強会を通して全職員が周知しており身体拘束をしない取り組みがなされている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>鍵はかけておらず職員が常に利用者が見える場所にいるようにして対応されている。センサーが設置されておりまた事務室の職員も対応している。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回避難訓練を行っており、また消防の方も参加している。地域の協力員は決まっているが参加してもらってはいない。</p>		<p>今後協力員も含めた避難訓練を期待したい。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>品数が多く栄養バランスも良好である。毎食個々の摂取状況の記録が残され、また水分摂取量も記載されている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症マニュアルがあり、職員は勉強会にて周知されている。また身近にできることとして手洗い、うがいを励行し感染症予防に努めている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は整理整頓され大きな窓からは適度な採光があり、また温度、湿度管理もされている。不快な音もなく、食卓には季節の花が飾られたり、また季語を入れた習字が飾られている。ゆったり思い思いの場所が入居者がくつろいでいる。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室にはご本人が使用されていた馴染みの物を置いたり家族の写真が飾られ居心地よく過ごせるような配慮がされている。</p>		

 は、重点項目。